

# 栃身連

第143号

発行所

一般財団法人  
栃木県身体障害者福祉会連合会  
宇都宮市若草1丁目10番6号  
とちぎ福祉プラザ2階

発行人 麦倉仁巳  
TEL 028-624-8408  
FAX 028-624-8418

第27回

## 栃木県民福祉のつどい

令和3年8月23日

栃木県総合文化センター特別会議室

県民全体が福祉について考え、参加者が自らの活動への意欲をより高める機会とするために、毎年開催される「栃木県民福祉のつどい」ですが、昨年と同様に新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るため、規模を縮小し、各部門の代表受領者への表彰式のみが執り行われ、麦倉仁巳会長による「県民福祉宣言」が採択され閉幕となりました。

## 第27回栃木県民福祉のつどい



### 県民福祉宣言

私たちは、ふるさと「とちぎ」で暮らす全ての人々が、一人ひとり自立し、お互いに支え合い、助け合いながら、安心して、また、誇りを持って住み続けることのできる地域社会づくりを目指し、「子どもを健やかに生み育てる環境づくりの推進」、「人と地域の輪を広げ、ひとり親家庭への自立支援」、「高齢者の健康と生きがいづくりの推進」、「障害者の自立支援と社会参加の促進」、「共同募金やボランティアなどの民間福祉活動への参加と協力の推進」に積極的に取り組めます。

そしてここに集う私たちをはじめ、本県の福祉関係者が一致協力して、県民の福祉に対する認識と理解を一層深め、ともに生きる豊かな福祉社会の実現に努めることを宣言します。

### 栃木県知事表彰

#### 障害者自立更生者

宇都宮市 吉澤昌三  
宇都宮市 渡辺博之

#### 障害者支援功労者

佐野市 船渡川政義  
真岡市 仁平春美

#### 障害者社会参加促進功労者

足利市 田部井知子

### 栃木県身体障害者団体連絡協議会会長表彰

#### 自立更生者

宇都宮市 小山田敏子  
真岡市 上野征一  
大田原市 阿久津清久  
大田原市 新巻敬子  
さくら市 鈴木勝男  
塩谷町 大村正子

#### 更生援護功労者

宇都宮市 田邊静子  
宇都宮市 曽根鐵也  
宇都宮市 加藤亜矢  
宇都宮市 長島伸一  
足利市 亀谷友子  
真岡市 亀谷友子  
さくら市 吉川和正  
下野市 亀田栄光  
市貝町 平野正  
壬生町 渡邊静子  
塩谷町 三上シマ子

(敬称略)

以上、本年度の障害者関係の受賞者は全21名の皆様でした。  
このたびの式典にご参列いただけたかった皆様におかれましては、ここにお祝いを申し上げます。



## 東京2020 オリンピック・パラリンピックが閉幕して

一般財団法人栃木県身体障害者福祉協会  
特定非営利活動法人栃木県障害者スポーツ協会

会長 麦倉 仁巳

東京オリンピックに続いて開催された東京パラリンピックが9月5日閉幕しました。

今回の大会は新型コロナウイルス感染症拡大により緊急事態宣言下での原則無観客開催となり、テレビ画面越しの応援を余儀なくされました。

東京パラリンピックには本県ゆかりの3選手が出場、車いすバスケットボールでは高松義伸選手が銀メダルを、車いすテニスでは女子ダブルスでおおたにもとこ大谷桃子選手が銅メダルを獲得し、男子ダブルスで真田卓選手が4位に入賞するなど熱戦を繰り広げ、県民に感動を与えてくれました。

国内選手では、14歳の水泳選手や66歳のマラソン選手など、選手層の厚さにも感動させられ、50歳の自転車競技選手の「最年少記録は一度だけだけれど最年長記録は何度でも可能」の言葉は高齢化社会における生涯現役に通じるものとして印象に残りました。

海外選手では、陸上女子2000m視覚障害予選で伴走者がレース直後に選手にプロポーズするサプライズが放映され、スポーツの域を超えた共生社会の縮図を見た感じがしました。

また、選手を支える車椅子や義足をはじめとする補装具の技術革新にも目を見張るものがありました。

一方、人権を尊重する多様性と調和を大会理念とした今大会での相反する事象（女性蔑視発言による退任、ナチスによるユダヤ人大量虐殺を揶揄するセリフ使用による解任、人種差別に対する抗議を表明する選手、陸上女子選手の亡命など）は私たちにとても今後の課題となりました。

東京パラリンピックを契機とした「ユニバーサルデザイン2020行動計画」に基づき、ハードのバリアフリーと併せて心のバリアフリーが一層推進され、誰もが相手を理解し支え合える共生社会を願うものです。

来年は、地元栃木県で全国障害者スポーツ大会（いちご一会とちぎ大会）が開催されます。全国各地から4年ぶりに参加する選手やその関係者を日本一のおもてなしでお迎えし、栃木の魅力を存分に満喫していただけると期待します。

\* \* \* \* \*

東京2020パラリンピックの聖火フェスティバルに県障害者スポーツ協会会長として出席しました。

本来であれば8月15日に県下全25市町において、特色ある採火式を行う予定でしたが新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止、翌16日に県のみで採火、無観客で実施されました。



### パラリンピック聖火フェスティバル

8月24日に開幕する東京パラリンピックに向け、聖火の火を採取する「栃木県採火・出立式」が8月16日、障害者スポーツセンター（わかくさアリーナ）駐車場において行われました。

日光杉で作られた巨大な火起こし器を使って「回転摩擦式」により採火された火は、佐野市の伝統工芸「佐野天明鋳物」の聖火皿に移され、2012年ロンドンパラリンピック車いすバスケットボール男子日本代表として出場した増淵倫巳さんがトーチに点火しました。



## 聖火リレーを見学して

栃木市身体障害者福祉会連合会  
栃木支部心光会

会長 江原 昭吉  
えはら しょうきち

昨年延期になった東京2020オリンピックの聖火リレーに、心光会会員の佐藤勝一君が栃木市の最終ランナーに選ばれたと聞き、早速聖火リレーを見学するための入場券を市役所に申し込んだところ幸い当選したので見学に行くことになりました。

三月二十八日、午後一時半の受付時間前にはすでに十数名並んでいました。ゴール地点の「山車会館前広場」は、コロナ感染防止のため間隔を空けて印がありましたので、ゆったりと見学できると思いました。

リレー開始の花火が上がリ待つこと一時間半、佐藤君が聖火を車椅子に添えて広場に入ってきたと同時に、後にいた人たちが一気に前の方に出て来てしまい、車椅子の私たちは見づらくなってしまいました。密にならないように対策されていたのに、一時的に密になってしまったのは残念に思いました。

ステージのセレモニーが終わり、スロープを降りてきた佐藤君と目が合い、感動を伝えられたと確信しました。

## 聖火リレーに参加して

佐藤 勝一  
さとう かついち

コロナウイルスの影響で一年間延期された東京2020オリンピック聖火リレーが三月二十五日、福島県を出発しました。栃木県は三月二十八日に足利市から佐野市、小山市、茂木町そして栃木市の順でした。

コレクシヨンポイントという走行場所は、密集を避けるために、各ランナー個人に対して通知され一般には公表されませんでした。沿道にはたくさんの方が応援に出てくれていました。

栃木市のランナーは十二名で、私は『山車会館』までの最終ランナーでした。前走者からの聖火を引き継ぎ、私は車椅子で走り出しました。「勝ちやん」と、かけ声が聞こえてきたので、今までの緊張が解かれたような気がしました。

山車会館の広場に入りますと、正面の雛壇では大川市長が出迎えをしてくれました。長いスロープを上がると、広場には大勢の方々が見守ってくれています。私は緊張でアナウンスの声を聞き逃してしまいポーズをとることができませんでした。

私は三歳の時に小児麻痺を患い、現在車椅子の生活をしています。多くの人の優しさに包まれて今日があると思っています。その一人一人の方々に感謝の気持ちを表したい、そして私が今も幸せに元気でいる姿を見てもらいたいと思い、聖火ランナーに応募しました。



“NHK東京2020オリンピックサイトから引用”

本ページの寄稿文は  
令和3年3月31日発行の  
「福祉心光会だより」から抜粋で  
掲載させていただきました



自宅で在宅医療をしている家内は聖火ランナーに内定した時から今日の日のを楽しみにしていました。家内の分も一生懸命走ろうと思いました。そして、幼い日の辛い出来事などを思い出して、今の自分がある生活に自然と笑顔がこぼれた瞬間でした。

聖火リレーの報道がされ始めた頃、映像を観ていると皆、沿道の人たちに手を振り笑顔で走っていました。私はこんな余裕のある行動が出来るのだろっかと思いつつ、時々ブレスシャワーから「応募しなければよかったな」と思ったりしましたが、大変貴重なかけがえのない体験をさせていただいたことは本当に幸せです。



## 講演会『障がい福祉と支援とは』お知らせ

- 【主催】とちぎの障がい福祉を明るくする実行委員会  
(特定非営利活動法人障がい者の一人暮らしを考える会、  
特定非営利活動法人おひさまクラブ)
- 【日時】令和3年10月31日(日) 10時～15時
- 【場所】障害者スポーツセンター(わかさアリーナ)  
宇都宮市若草1-10-6 (TEL)028-678-6667  
※土足厳禁のため上履きをご持参ください。
- 【プログラム】10:00～ ミニスポーツの展示や物販等  
13:30～ 講演会

第1部 講演 [講師] 菊地月香氏  
(社会福祉法人同愛会 障害者支援施設光輝舎施設長)

第2部 まとめ・意見交換会

15:00～ 閉会

※参加申込及びコロナ感染状況による開催の有無や変更等については下記にお問い合わせください。

一問合せ先  
障がい者の一人暮らしを考える会事務局  
TEL: 090-7701-3130 (18時以降におかけください)  
E-mail: kappa1@cc9.ne.jp

## 行事中止のお知らせ

新型コロナウイルス感染症の拡大状況等の影響から本年度の下記行事が中止となりました。

- 中止 9月26日 栃木県障害者スポーツ大会
- 中止 10月23日～25日  
全国障害者スポーツ大会(三重大会)
- 中止 11月 栃木県障害者文化祭

当会主催の「栃身連研修会」については、再三にわたり延期のお知らせでご迷惑をおかけいたします。今後の感染状況を踏まえ、開催については改めてご案内させていただきます。

## J R ジパング倶楽部特別会員更新手続き

新型コロナウイルスの影響により、期限内に更新の手続きができなかった場合はお申し出ください。  
期限を超えても更新として手続きいたします。  
有効期限切れから1年を経過いたしますと、新規会員扱いとなりますのでご注意ください。

問 一般財団法人 栃木県身体障害者福祉会連合会  
〒320-8508 宇都宮市若草1-10-6 とちぎ福祉プラザ内  
(TEL) 028-624-8408 (FAX) 028-624-8418  
URL <http://www.tochishinren.jp> E-mail [toti-sin@juno.ocn.ne.jp](mailto:toti-sin@juno.ocn.ne.jp)  
【休業日 日曜日・月曜日・祝祭日】

## マイナンバーカードの取得促進

社会全体のデジタル化が進む中、新型コロナウイルス感染症拡大への対応を契機として、その基盤であるマイナンバーカードの普及が必要であることから、栃木県においてはすべての県民が取得することを目指して取り組んでいます。今後も利活用場面が広がり、県民の利便性向上に大きく役立つものです。  
申請が済んでおられない方はぜひお手続きください。

### マイナンバーカードの主なメリット

- 公的な身分証明書として利用可能
- コンビニで公的証明書(住民票の写し・課税証明書等)が取得可能
- 健康保険証として利用可能
- オンラインで行政手続(子育て関係、e-Tax等)が可能
- 民間サービスでの使用  
※住宅ローン契約や証券口座開設等
- 運転免許証と一体化 ※R6(2024)年度末以降の予定

### マイナンバーカード総合サイト

<https://www.kojinbango-card.go.jp>

マイナンバー総合フリーダイヤル 0120-95-0178

## 『健康長寿とちぎ』公式ツイッター



@tochigi\_kenken



健康に関する情報を広く発信し、県民の健康づくりへの理解促進を図ることを目的に開設されました。

【運営】栃木県保健福祉部健康増進課健康長寿推進班  
健康のために役立つ情報や各種イベント・キャンペーンの案内、県内のウォーキングコースの紹介等、さまざまな情報を発信しています。栃木県の健康づくりに関するホームページ「健康長寿とちぎWEB」もあわせてご覧ください。

<http://www.kenko-choju.tochigi.jp/>

コロナ禍の健康づくり 出来そうなことを探して実行してみませんか

|               |              |                |
|---------------|--------------|----------------|
| 座っている時間を減らす   | 毎日筋トレとストレッチを | 3密を避けて日中に散歩を   |
| 食事の前にお口の体操    | 毎食後と寝る前に歯磨き  | 水分補給もお口のお手入れ   |
| 電話やメールでおしゃべりを | 外に出て日光を浴びる   | お互いに声をかけ合い支え合い |



この機関紙は  
赤い羽根共同募金配分金  
により発行しています